

山河在り

文責 米村

東陽中学校だより
平成27年度第5号
平成28年1月8日



八代市立東陽中学校 Tōyō Junior High School



～謹賀新年～ 夢(目標)を叶えるための土台(基礎)を日々作り上げよう！

一富士 二鷹 三茄子 ～縁起の良い初夢が無かった人も、目標の実現へ向けた努力を継続～
2学期の終業式講話で「初夢」に関する宿題を出しましたが、皆さんの「初夢」に富士・鷹・茄子は登場しましたか。諸説あるようですが、江戸時代徳川家康ゆかりの縁起ものとして、また富士＝無事、鷹＝高い、茄子＝成す、と言葉をかけて、夢が見事に高い目標で叶うことをそれぞれ「夢」みた人々の願いなのでしょう。



富士山の標高は3776mで日本一高い山です。世界遺産に登録され、その美しさは海外でも人気上昇中です。周囲に山の無い単独峰である富士の美しさを支えているのは裾野で周囲の距離は約153kmもある巨大な土台であります。このことは、私たちが生きるために必要な夢(目標)を叶えるためにも必要なことです。目標が高いほど、日々の土台づくりが大切であるということ。毎日の授業や家庭学習の積み重ねが進路希望を叶える道であり、あと一歩前に進むためのきつい練習が、大きな大会で勝利をつかむ土台となるわけです。新年を迎えるにあたり、初心に帰り土台づくりの大切さと毎日実践できる計画を立ててみましょう。

ところで、熊本県には富士山に負けない山があるのを知っているでしょうか。世界有数のカルデラを誇る阿蘇山で標高こそ1592m(ヒゴクニ＝肥後国)ですが、裾野を考えれば雄大さは富士山を超えるもの。カルデラの中で人々が普通に生活しているわけですから、世界ジオパーク認定も当然でしょう。



最後に、阿蘇山と富士山で社会人としての常識を4点まとめておきます。当然、東陽中学校の皆さんも土台(基礎)として、日常生活において意識し、行動していると思います。

- ① あいさつ……学校生活でも常識、自分から進んで実行
- ② そうじ……自分自身を磨くためにも熱心に黙々と実践
- ③ ふくそう……初対面の相手ほど見た目にこだわる
- ④ じかん……約束の時間を守れるかですべてが始まる

面積380km²のカルデラ内に列車が走り駅があり市が存在する。

平成28年3学期&平成28年度も小中一貫・連携教育を発展・継承！

1月7日東陽中学校図書室にて東陽小学校と中学校の職員による合同職員会議・研修会を実施しました。新学期のスタートに当たり毎回開催している会で、今回は3学期の行事確認に加えて、28年度4月以降の大きな行事についても日程を調整しました。運動会や文化祭等の行事が集中する9月や10月の日程は、今年度同様かそれ以上に詰まりすぎており、児童・生徒の負担を考えると、何らかの方策を打ち出す必要がありそうです。

来年度の東陽中学校生徒数自体が、今年度の56名を大幅に下回ることは確実で、現在の推測で全校生徒42～43名を見込んでいます。平成29年度は35～36名くらいに減少する可能性があります。今以上の小中一貫・連携教育を進めながら、学校行事の見直しを進める予定です。学校単独では実施できないものや、地域のご理解・ご協力を仰ぎながら進めたほうが効果的なものも多く考えられます。保護者の皆様におかれましてもこれまで以上のご支援ご協力をお願いするものです。

検討が必要な行事(一例)
・運動会の開催時期(春か秋か)
・文化祭の平日開催
・修学旅行の実施時期や費用
[複数学年合同実施の計画も]



裏面もご覧ください

各種調査より、東陽中の進むべき方向が見える

～標準学力検査 (NRT)27年4月実施～

平成27年度標準学力検査(NRT)の結果は、全校で52.1と全国標準50.0を2.1ポイント上回った。男女差、学年差もわずかにみられる。教科によるバラつきも見られる。

実施教科(国・社・数・理、2年3年のみ英)に拠る総合学力平均は全国比でやや高いと言えるが、基礎的な面についても具体的な対応の仕方を習得させることで学力の伸長が期待できる。

好ましい到達状況にある生徒の割合は全体的にやや多く、程よい傾向をもった学校である。下位群に含まれる生徒は1割程度で学力が低いとする生徒は少ない。[全学年前年度の学習内容で実施]

～全国学力・学習状況調査 27年4月実施～

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果は、国語A(知識的問題)、国語B(活用的問題)、数学A(知識的問題) 数学B(活用的問題)、理科の3教科5領域で実施。

本校の平均正答率に関しては、全ての教科において県や全国の数値を上回っているが、ほとんど差のないものもある。質問紙の結果からは、「家庭での予習・復習が足りない。」「授業中わからなかったことを先生に尋ねる生徒が少ない。」「といった課題が明確になった。八代市全体の数値と全国の比較は八代市のホームページより確認ができる状況。[第3学年のみ実施]

～熊本県学力調査 27年12月実施～

第1学年では受検した5教科の領域別定着率において90%を超えているものが複数ある。各教科の観点別定着率でも2教科の項目で90%を超える一方、50%を下回る項目も複数あり学年共通の課題となる。

第2学年では受検した5教科の領域別定着率において3教科のそれぞれ一項目が低い定着率で共通の課題。観点別定着率では90%を超える項目がある一方、4教科に50%を下回る項目が存在し学年共通の課題。[第1学年、第2学年で実施]

～熊本県「心のアンケート」27年12月実施～

悩み調査の形式で、紙面と面談により各学年で学級担任が中心となり実施。人間関係の悩みを抱える生徒が数名存在するが、本人の希望等を配慮し、経過観察を続けている。

11月実施の文化祭等でも発表された東陽中学校保健給食委員会調査によると、「学校が楽しい」と回答した生徒の数が昨年を上回っている。

上記両調査の結果を参考にしながら、引き続ききめ細やかな生徒相談体制を確立して行く。[全学年の生徒対象に実施]

克服すべき課題

- ☆授業での積極的な質問
- ☆自ら思考し意見発表・意見交換
- ☆家庭学習の充実
- ☆部活動と勉強の両立

新生徒会役員が決定～若い力に期待する継承と発展・創造～

昨年12月17日に実施された東陽中学校生徒会役員選挙の結果、平成28年度の東陽中学校生徒会を牽引して行く3名の役員が決定しました。

☆生徒会長 上村麻桜さん(2年生) ☆副会長 加藤遥香さん(2年生) 山本航平さん(1年生)

加えて、新生徒会長より次の3名も役員として新たに任命され、12月25日に行われた任命式で全校生徒に紹介、旧役員と新役員の挨拶が披露されました。

☆生徒会議長 押方佑彌さん(2年生) ☆書記 寺田圭佑さん(1年生) 古賀瞳さん(1年生)

3学期までは旧役員の3年生が在籍しています。今後決定する各委員長を含めて、これまでの生徒会を学ぶとともに、新たな生徒会としての活動を築きあげて欲しいものです。先輩が残したものだけでは生徒会活動は発展しない。また、生徒数も減少し新たな課題に生徒会として取り組む必要が出てきます。梅田美乃里前会長はじめ旧役員の皆様に感謝し、上村麻桜会長と新役員、生徒会会員の活躍に期待しています。

<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

東陽中学校のホームページもご覧ください。行事写真も確認できます。

最後までご覧頂きありがとうございました。